



倉吉市立社小学校での読み聞かせ

- 【設 立】** 平成 15 年に有志 6 名で発足。現在、会員 12 名
- 【活動内容】** ○毎週金曜日に、倉吉市立社小学校の 5 クラス（1 年、2 年、特別支援学級）で、「朝読書」を実施
- 月に 1 回、次の 3 か所で読み聞かせ活動を実施
- ・倉吉市立社保育園（未満児～年長児）
 - ・社児童クラブ（放課後児童クラブ）
 - ・社児童センター
- 年に 1 回、「GOGO やしろ塾」*で読み聞かせ活動を実施
その他、倉吉市公民館や子ども会などに出向き活動中。また、地区文化祭で、1 年間の活動を展示で紹介
- 【活動目的】** (1) 絵本をとおして、子どもたちと一緒におはなしを楽しむ。
(2) 子どもたちに命の大切さや、優しさと思いやりの心を伝える。
(3) 子どもたちに人と人とのつながりを大切にすることを感じてもらい、自分たちも子どもたちと交流を深める。

活動をはじめたきっかけ

平成 13 年 12 月に、私が社地区の主任児童委員として保育園行事に参加した時に、子どもたちを知るには、子どもたちの中に入って同じ目線に立つことが大切だと気づきました。そして、子どもたちの中に入るために、倉吉市立図書館主催の朗読講座で学んだことや仕事で培ったスキルを活かして、一人で読み聞かせ活動を始めました。しかし、年齢に応じた選書の難しさやグループづくりの必要性を感じ、公民館活動の仲間や町内の退職者を誘い、6 人で「しゃぼん玉」の活動をスタートしました。

社地区は、「地域の子どもは地域で育てる」という機運の高い地区で、地元を中心に地域密着で活動しています。

子どもたちに育てられ

子どもたちに会うと、「しゃぼん玉の人！」とあいさつをしてくれ、話しかけてくれます。中には、名前を覚えてくれていた子どももいます。子どもたちのキラキラ輝く瞳と食い入るような眼差しに、毎回心地よい緊張感を覚えます。

子どもたちの反応はとても素直です。面白い！楽しい！と感じたときは自然と笑顔がこぼれます。反対に、私たちが納得しないまま読み聞かせをすると、子どもたちも敏感にそれを感じとります。子どもたちに元気をもらい、励まされながら、育てられていると日々実感しています。

大切にしていること

- 季節感や作者の想いも大切にしながら、幅広いジャンルで子どもたちの年齢に合った本を選びます。
- 倉吉市立図書館で会員全員が交代で本を借り、会員同士で選書の勉強をします。
- 活動記録を必ず残し、会員同士で活動をふり返ったり、情報を共有したりします。
- 社小学校では、校長・図書館司書、担任の先生とも話をして、感想や要望なども聞きながら学校と連携をとっています。
- 現職の会員もいるため、それぞれの会員が可能な時間帯に活動することで、無理のない活動を心がけています。
- 読み聞かせ活動以外にも、手芸やお菓子づくり、食事会などで会員同士が交流を深めています。

これからの目標

図書館主催の研修会や他団体のおはなし会にも参加し、毎月の定例会では、会員同士で学びを深めています。

平成 26 年には、子どもの読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰を受賞。とても光栄に感じるとともに、「しゃぼん玉」の地域における子どもたちへの役割は大きいと考えています。会員一同ますます精進し、これからも本を読むことの楽しさを子どもたちに伝えていきたいです。



真剣に聴き入る子どもたち

読み聞かせにおすすめの絵本

『ラチとらいおん』（作 / 絵 マレーク・ベロニカ）

世界中で一番弱虫のラチ。ラチのそばにはいつも小さいけれど強い赤いライオンがいた。ラチが強くなったとき、ポケットにライオンはいなかった。私たちがこんなライオンがいたら、勇気と元気が出てなにも怖くないかもしれない。

ほかにも、『すてきな三にんぐみ』『おこだでませんように』『かたあしだちょうのエルフ』『これはすいへいせん』など、おすすめです！

* GOGO やしろ塾

青少年教育活動の一環として、社子どもいきいきプラン実行委員会が主催。社公民館で地域の小学生約 30 名を対象に主に土曜日に年 6 回程度開催。読み聞かせや紙芝居、地域の歴史や自然に触れ学び、体験する活動をしています。